

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり) (愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)

直近の運用状況について

2016年8月15日

平素は、「コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。当ファンドの直近の運用状況について、お知らせいたします。

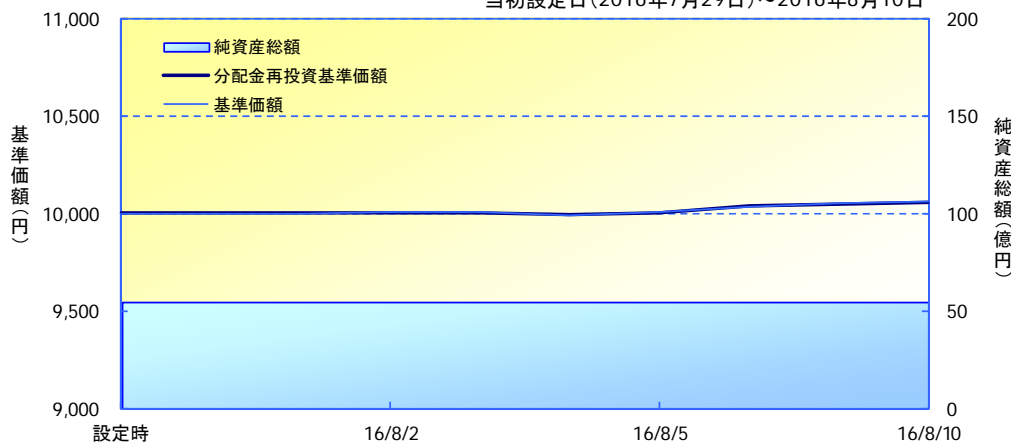
◀基準価額・純資産の推移▶ ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年8月10日現在

基準価額	10,057 円
純資産総額	54億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	----
3カ月間	----
6カ月間	----
1年間	----
3年間	----
5年間	----
年初来	----
設定来	+0.6 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

◀主要な資産の状況▶

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国債券	29	90.5%
コール・ローン、その他※		9.5%
合計	29	100.0%

※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。

*当ファンドが投資対象とするハイブリッド証券(劣後債、優先証券)は、外国債券として表示しています。

通貨別構成		
通貨	合計100.0%	
	比率	
日本円	99.7%	
ユーロ	0.2%	
英ポンド	0.0%	
米ドル	0.0%	

※保有する外貨建て資産の比率から、為替予約取引の比率を差し引いた実質的な比率を表示しています。

格付別構成		
格付別	合計100.0%	
	比率	
AAA	---	
AA	---	
A	2.5%	
BBB	74.5%	
BB	23.0%	
B以下	---	

※格付別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成について、海外発行体はMoody's、S&P、Fitchで格付けの高いものを採用し、算出しています。

ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	5.4
最終利回り(%)*	2.8
修正デュレーション(年)*	2.4

*次回コール日を基に算出しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

《主要な資産の状況》

業種別構成		合計100.0%
業種		比率
通信サービス		22.0%
銀行		21.9%
電力		19.2%
その他公益		14.9%
天然ガス		6.2%
エネルギー		5.6%
不動産		5.3%
素材		5.0%

※業種別構成は、パイオニア・インベストメント・マネジメン
ト・リミテッドが提供するデータを基に大和投資信託が作成
したものです。

※業種別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

国・地域別構成		合計100.0%
国・地域		比率
フランス		39.8%
オランダ		16.7%
オーストリア		9.6%
イギリス		9.4%
イタリア		7.7%
ドイツ		5.9%
メキシコ		4.0%
オーストラリア		3.4%
イギリス領バージン諸島		2.5%
韓国		1.0%

※国・地域別構成の比率は、ポートフォリオに対するものです。

組入上位10銘柄				合計46.6%
銘柄名	通貨	利率(%)	次回コール日	比率
Electricite de France SA	ユーロ	4.25	2020/01/29	7.2%
OMV AG	ユーロ	6.75	2018/04/26	5.1%
Vonovia Finance BV	ユーロ	4.625	2019/04/08	4.8%
Engie	ユーロ	3	2019/06/02	4.7%
Solvay Finance SA	ユーロ	4.199	2019/05/12	4.6%
Enel SpA	ユーロ	5	2020/01/15	4.5%
Barclays Bank PLC	英ポンド	14	2019/06/15	4.4%
Royal Bank of Scotland Group PLC	ユーロ	3.625	2019/03/25	4.1%
RWE AG	英ポンド	7	2019/03/20	3.7%
Orange SA	ユーロ	4.25	2020/02/07	3.7%

※比率は、純資産総額に対するものです。

《参考》マザーファンドの通貨別構成

通貨	比率
ユーロ	74.8%
英ポンド	15.7%
日本円	5.2%
米ドル	4.3%
合計100.0%	

※比率は、マザーファンドの純資産総額に対するものです。

※以下のコメントは、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

＜市場環境＞

足元、コーポレート・ハイブリッド証券市場はおおむね堅調に推移しております。

6月後半の英国の国民投票におけるEU(欧州連合)離脱派の勝利を受けて、市場心理の悪化からコーポレート・ハイブリッド証券市場は全般的にスプレッドのワイド化を余儀なくされましたが、7月以降はその回復局面となっております。ECB(欧州中央銀行)のCSPP(投資適格社債買付プログラム)による間接的な恩恵や、各国の中央銀行の金融緩和政策を背景に国債金利が低位で推移する中、相対的に高い利回りの残るコーポレート・ハイブリッド証券への需要が相場の上昇要因となりました。

また、7月29日、EBA(欧州銀行監督機構)によるEU内の51金融機関を対象としたストレステスト(健全性審査)の結果が公表されましたが、不安視されていたイタリアのモンテ・パスキ銀行を除く、50行の金融機関がスクリーニングをパスしたことから、同テスト結果は特に材料視されませんでした。また、モンテ・パスキ銀行についても、50億ユーロに及ぶ資本増強策が発表されたことから、クレジット市場は株式市場と比較して、ポジティブな反応となりました。

＜運用状況＞

上記のような環境下、当ファンドは設定来、ハイブリッド証券への投資を進めており、8月10日時点でハイブリッド証券の組入比率は90.5%としております。引き続き、リスク対比で魅力的な利回りが期待されるハイブリッド証券への投資を行っていく方針です。

なお、為替変動リスクを低減するため、外貨建資産に対して為替ヘッジ比率を高位に維持しています。

＜今後の見通しおよび運用方針＞

6月後半に実施された英国の国民投票の結果は世界に大きなショックをもたらしましたが、各国の中央銀行は状況を見極めながら、金融緩和のさらなる強化や政策金利の引き下げなど経済活動を支援するための長期的な施策を講じてくることが予想され、それらがリスク資産全般の下支えとなるものとみられます。

ハイブリッド証券市場は、ECBによる金融緩和効果などを背景に発行企業が利払いを繰り延べるリスクは依然として低く、現在のハイブリッド証券の信用スプレッドは魅力的な水準にあると考えています。また、ECBのCSPPによる間接的な恩恵や投資家が相対的に高い利回りを追求する動きも継続するとみられるほか、金利低下が進む局面においては、コールの期日までがより長いハイブリッド証券への需要も高まっていくものと考えております。

金融セクターは、英国のEU離脱の影響は逆風となると考えられるものの、7月末にEBAから発表された銀行ストレステストの結果で一部の銀行を除き、おおむね健全な資本水準にあることが示されました。また、3月にECBが追加緩和策として発表した、貸出条件付き4年物長期リファイナンス・オペ(TLTRO II)の導入がEU域内の銀行の調達コストを引き下げ、中期的には金融システムの安定化に寄与するものと捉えています。

※以下のコメントは、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

<組入上位銘柄の紹介>

銘柄名	セクター	国	企業概況
Electricite de France SA フランス電力	電力	フランス	原子力発電を中核とする世界最大級の発電能力を擁するフランスの電力会社
OMV AG オーエムヴィー	エネルギー	オーストリア	オーストリアに本拠を置く、中央ヨーロッパで最大規模の石油精製・ガス事業を展開
Vonovia Finance BV ヴォノヴィア・ファイナンス	不動産	オランダ	不動産サービス会社。住宅用不動産の管理・賃貸・販売などを手掛ける
Engie エンジー	電力	フランス	フランスに基盤を置く電気・天然ガス、その他エネルギー関連サービス事業者。フランス政府が大株主
Solvay Finance SA ソルベール・ファイナンス	素材	フランス	化学品・プラスチックメーカー。主な製品は、ソーダ灰、過酸化水素、機能性ポリマーなど多種にわたる
Enel SpA エネル	電力	イタリア	発電、天然ガス供給事業を約30か国で展開するイタリアの大手エネルギー企業
Barclays Bank PLC バークレーズ バンク	銀行	英国	英国の大手民間銀行。英四大銀行の一角を占め、グローバルに銀行・金融サービス事業を展開
Royal Bank of Scotland Group PLC ロイヤルバンク オブ スコットランド・グループ	銀行	英国	銀行・金融サービスを提供する国際的企業。英国、欧州、中東、南北アメリカ、アジアで業務を展開
RWE AG エル・ヴェー・エー	電力	ドイツ	ドイツ最大手のエネルギー供給会社であり、電力のみならずガス事業も手掛ける
Orange SA オランジュ	通信サービス	フランス	家庭や企業に対し、インターネットや固定電話、通信機器の販売・リースなどを手掛ける

以上

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資します。
 - ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式*の性質を併せ持つ(ハイブリッド)証券であり、劣後債および優先証券があります。
 - *株式と連動して証券価格が変動するものではありません。
 - ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクが高いことやハイブリッド証券固有のリスクなどにより、利回りが高いという特徴があります。
 - ※ハイブリッド証券固有のリスクには、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利払繰延リスクなどがあります。
 - ◆世界の企業には、金融機関を含みます。金融機関についてはG-SIFIsに指定されているものとします。
 - ◆証券の格付けは、取得時において投資適格*の格付けを有する銘柄を中心とします。
 - なお、利回り水準や流動性を加味した上で、投資適格未滿の格付けを有する銘柄にも投資します。
 - *ムーディーズでBaa3以上またはS&PもしくはフィッチでBBB-以上
 - ◆信託期間内に満期償還される銘柄および繰上償還や買入消却等が見込まれる銘柄に投資します。
 - ※組入銘柄の償還や買入消却に伴い再投資する際は、普通社債または先進国の国債に投資することがあります。
 2. 運用は、パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドが行ないます。
 3. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
 4. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-03>>」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「ハイブリッド証券固有のリスク(劣後リスク(法的弁済順位が劣後するリスク)・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク)」、「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	ご購入の申し込みはできません。	-
信託財産留保額	0.3%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.4688% (税抜 1.36%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末、途中換金および信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07（為替ヘッジあり）（愛称：メジャー・カンパニーズ16-07） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。